



2024-25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック



No.3580 1月28日(火)

● 本日の卓話

「特殊詐欺の現状と対策について」

和歌山県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止総合対策室
調査官・課長補佐 和歌山県警部
石 神 慎 吾 さん

● 次週の卓話

「外部卓話」

シナジーマーケティング株式会社
ビジネスクリエーション部 部長
平 手 和 徳 さん

● 先週の例会記録

- ★ロータリーソング 和歌山ロータリー
- ★ビジター紹介 なし
- ★出席報告 (会員数77名、免除会員1名) 本日出席(1/21) 55名 71.43%
- ★メイキャップ 田辺へ2名、御坊へ2名
- ★S. A. A. (ニコニコ箱) 野井和重さん、松井良樹さん、西岡千博さん、中谷 弘さん、松尾泰明さん、野志幸生さん、上園芳孝さん、瀬川良浩さん、岩西智宏さん、垣本英作さん、河村秀樹さん、中野智一さん、脇坂三蔵さん、村田弘至さん、川端貞喜さん、旅行会

本日合計 ¥66,000
今年度累計額 ¥1,310,000

- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、西岡千博さん、中谷 弘さん、松尾泰明さん
- (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、西岡千博さん、中谷 弘さん
- (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん、西岡千博さん、中谷 弘さん、野志幸生さん

1月は職業奉仕月間です

卒寿のお祝い

中 谷 弘 会員
満90歳
(昭和10年1月20日生)



誕生日お祝い

● 会長あいさつ

会長 野井 和重

【神宮】



伊勢神宮、正式には「神宮」と申します。日本には〇〇神宮という神社が他にもあり、混同しないよう伊勢にあります「神宮」で伊勢神宮と呼ばれています。ちなみに紀さんのお宮は日前神宮・國懸神宮(ひのくまじんぐう・くにかかすじんぐう)とお呼びするのが正式で皆様からは日前宮と呼ばれています。その神宮はいつどなたが伊勢の地にお鎮になったのか。ご存じかもしれませんが超簡単に短くおさらいをします。

神宮には天照坐皇大御神(あまてらしますすめおおみかみ。天照大御神)を祀る皇大神宮と、衣食住の守り神である豊受大御神を祀る豊受大神宮の二つの正宮があり、一般に皇大神宮は内宮(ないくう)、豊受大神宮は外宮(げくう)と呼ばれています。天孫降臨の際 天照大神は三種の神器を授けられ、その一つ八咫鏡(ヤタノカガミ)に自身の神霊を込めたとされ、神武天皇につたわり、以後代々の天皇のそばにおかれました。その後10代崇神天皇の時代に疫病がはやり、多くの民が亡くなり、天皇の御殿に御鏡があることが畏れ多い事となり、皇居の外にお祀りすることとなります。皇女・豊鍬入姫命(トヨスキイリヒメノミコト)が大和の笠縫邑(かさぬいのむら)に八咫鏡をお祀りします。これが現在の神宮の始まりです。その後第11代垂仁天皇の第四皇女倭姫命(ヤマトヒメノミコト)に巡幸の旅はバトンタッチされ、八咫鏡の鎮座地にふさわしい所を求め旅をされました。途中で「ここでもよろしいでしょうか?」と仮に御鎮座されたところが元伊勢と呼ばれる聖地で、和歌山市の濱宮神社もその一つであり、最終的に美しい朝日が昇り、清涼な五十

鈴川の上流である今の地に決まりました。その年が垂仁天皇26年ということで、西暦紀元前4年のことでありました。豊受大神宮は外宮(げくう)の御鎮座につきましてはまたの機会という事で、3月の第一週に紀さんに卓話を御願ひしています。前段にお話ししました天孫降臨の際 瓊瓊杵尊(ニニギノミコト)がおつくりになった鏡は三体あり、一体は八咫鏡、もう二体はなんと日前宮にごぞいます。日前神宮に日像鏡(ひがたのかがみ)、國懸神宮には日矛鏡(ひぼこのかがみ)がご神体として鎮座されています。卓話ではどのようなお話になるか楽しみであります。日前神宮・國懸神宮が神宮と並び、どれほどすごい神社であるのか。三体の鏡からも十分に理解できます。

2685年連綿と続く神武即位から大和朝廷を経ての日本国偉大です 有難う御座いました

会 長 報 告

深いご縁を頂いているクラブにメイキャップに伺ってきました。1/16に田辺ロータリークラブ様へ、1/17は御坊ロータリークラブ様へ表敬訪問させて頂きました。田辺さんは戦後和歌山で一番に創設され、我が地区最大の人数を誇るクラブで、本当にきっちりと運営されていましたし、御坊さんも70年の格式をもって丁寧にされていました。いい刺激を頂きました。2月には海南、新宮、橋本、有田、粉河さんへ伺う予定です。神戸さんの100周年にお呼ばれた時の思いを秘め、90周年への布石として伺っている訳ですが、これからもご縁は大切にしていきたいと思っています。松尾会長エレクト様には御後よろしく御願ひ申し上げます。本日は「会員増強フォーラム」となっています。活発な議論を御願ひします。

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ(和歌山中RC、有田南RC、田辺東RC、高野山RC)
- 本日(21日)次年度(25~26年度)第2回理事予定者会議があります。対象の理事役員のみなさまご主席よろしくお願ひします。
- 和歌山市内9RCの会長幹事会がありますので野井会長と出席してまいります。
- インターシティミーティングのご案内
- 次週クラブ協議会出席のお願い
- 回覧:あさひ便り・バギオだより・ハイライトよねやま

委 員 会 報 告

親睦・ソング委員会
坂東 信幸 委員長

さんか会開催のお知らせ

日時 1月28日(火) 18:30~
場所 十四階農園(和歌山市役所内)



クラブフォーラム I.D.M.を開催して

I.D.M. テーマ:「会員増強について」



(廣井理事) 昨年11月にIDMを開催し、各グループの中で会員増強についての話をさせていただきました。その概要をまとめさせていただき本日プリントで配布させていただきました。今日はこの内容についてテーブル別にテーブルディスカッションをしていただき、IDMの議事

録をもとにまたそれを発展させていただけたらと思いますし、ご自分の参加されたグループ以外の意見もあると思いますのでその辺もふまえてテーブルごとに話し合ってください、そのあと各テーブルからディスカッションの内容を発表していただきみなさんと共有していただければと思います。

最終、野井会長のほうから総評をいただきましてクラブフォーラムとさせていただきます。

(各テーブルからの意見)

・若い世代に入ってもらうのが重要。10年先の100周年に向けて40~50代会員を増やすべき。JC卒業生、中小企業が減っている中で難しいと思うがその中から一本釣りをすることか。和歌山RCとしてプライドを持って勧誘すればよいのではないかと。あとは目立つ事業を行いアピールするかSNSにアップすることも考えられる。

・現在の人数で適正じゃないかという意見があった。もう少し人数を絞って内容の濃い事業をすればよいのではという意見もあった。ただし、会員が高齢化してしまう中で年に数名の補充は必要。補充の方法としては若手経営者をJCから引っ張ってくる、お父様・おじいさまが入っている2世・3世の経営者の方に入ってもらうなど。そんなに人数をいっぺんに増やそうというのではなくて今の規模を維持しながら増やしていくのが良いと思う。

・人数については今くらいが適正ではないか。増えすぎてしまうとコミュニケーションがとりにくくなる。今の人数くらいがお互いに顔もわかり、話もできてちょうどよいのではと思う。あえて「増強」とまで力を入れて増やしていくのではなく、適時「適正な方」がいらっしゃるときにご紹介していくくらいが良いのではないかと。

・勧誘を行う時にRCがどんな活動をしているのかを一言で伝えづらいということもあるので、和歌山RCとしての方向

性をもう少し明確に伝えられるようにしたい。また、今回の会員がRCの活動への積極的な参加や役割を全うすることが必要。

・80人前後がクラブとしては適正だろうと思う。ただ、皆さんの年齢が高いこと、会長経験者が増え、理事などの役割を同じ方が担うことが増えているため、新しいメンバーを入れることも必要。女性会員についても必要かについて長期にわたって考えていくべき。

・若い方をお迎えするために、決してお金の面だけではないよねという話になった。時間を作ってここに来ることに価値があることを理解してもらうことが必要。入ることでのメリットをもう少し明確に伝えることができればいいと思う。若い会員の方々については、役について活動してもらうことで楽しくなってくることもあると思う。増強委員長一人に任せるのではなく組織として引継ぎを行ってどのような勧誘をしたらいいかの共有を行うべき。

・会員数については適正だという意見が出た。また会費についても、この会の活動内容であれば現状のままでよいと思う。入会するメリットとしてこの会に入らないと作れない人脈があることや視野が広まるといったアピールが必要。女性会員も積極的に受け入れるべきという声もあった。

・会員増強のためには、入会をお誘いしたのに入っていない場合の原因分析と、その情報共有を行い次に活かす、という意見が出た。現在例会以外の活動への参加人数が少なかったり、参加される方が固定化されていたりしているがもっと活動が活発に行われている姿を見せられるようにしてPRしていくべき。

・増強と言っても「数ありき」というのは違うのではないかと。今、このところこのくらいの人数が適正ではないか。また、「適正とは何か」ということについて時間をかけて考えるべきだと思う。女性の会員については「女性だから」というくくりではなく「人ありき」でゆくりと増やす。そして女性が入りやすく、また、みんなが迎えやすくするという土壌を作ることが大切だと思う。

・今、和歌山RCに入られていない企業さんがなぜ入っていないのかということを中心に議論をした。端的に言うと和歌山RCの良さを伝えきれていないということ。ここに入ることでもいろいろな方と知り合えるとか、卓話のレベルも高いし会費も寄付も含まれているのでそこでも高いというわけではないということなど、しっかりメリットを訴求していくことで入ってくる人を増やしていけばよいのではないかと。

(野井会長まとめ)



みなさまご意見ありがとうございました。ちょっと思うことですがみなさんにとっての適正人数って何人でしょう?今80人でほしい50~60人の参加。これが適正ですか?80人が適正ですか?RCというのは絶対出席しなければいけないという決まりがあって本来は欠席したらよそのところへメイキャップしに行く、そういうルールです。

和歌山RCはいまハードルが高いという意見がありましたけれどもこれは僕にとったらいやみにも聞こえて、本当の意味でハードル高いクラブにしていくと、入りたいなと思う人が出てくるのではないかと思います。みなさんの考える「適正人数」というのがよくわかりませんが、例えば10年後想像してみてください。このまま3人減って4人減って75人になったらどうします?すぐに会員が増えますか?増えませんか。増強して100人にしたい、これは大きな夢ですけどもやはりそのようにを常日頃考えていかないと知らない間に理事の半分が会長経験者、そしてその方々にまた理事になっていただく時代がやってくる……ということにもなりかねません。10年後を見据えて若いメンバーを増やしていくって本当の意味でのハードルの高いRCにしていきたいと思っています。ありがとうございました。